

平成25年4月

平成25年	1月	～	3月期	実績
平成25年	4月	～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 *平成15年1月以降	23

[集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご了解のうえ、ご覧下さい。

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

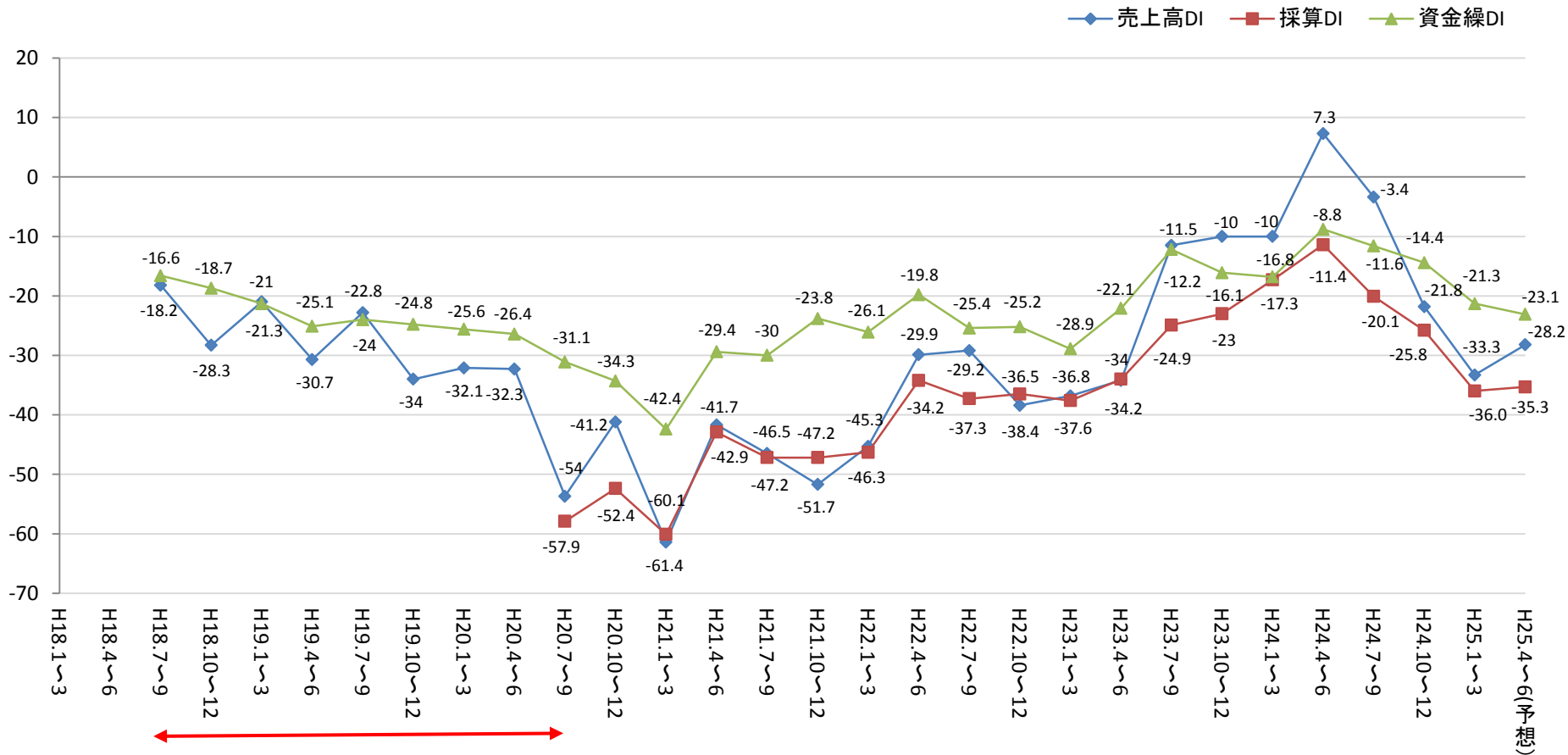
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成23年			平成24年			平成25年		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	(見通し) 4~6月
製 造 業	薄曇	薄曇	薄曇	薄曇	曇	曇	雨	雨	雨
建 設 業	曇	薄曇	晴	晴	晴	薄曇	晴	薄曇	曇
小 売 業	雨	雨	雨	雨	薄曇	雨	雨	雨	雨
サ ー ビ ス 業	雨	曇	薄曇	曇	晴	曇	曇	曇	曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	快晴	晴	薄曇	曇	雨

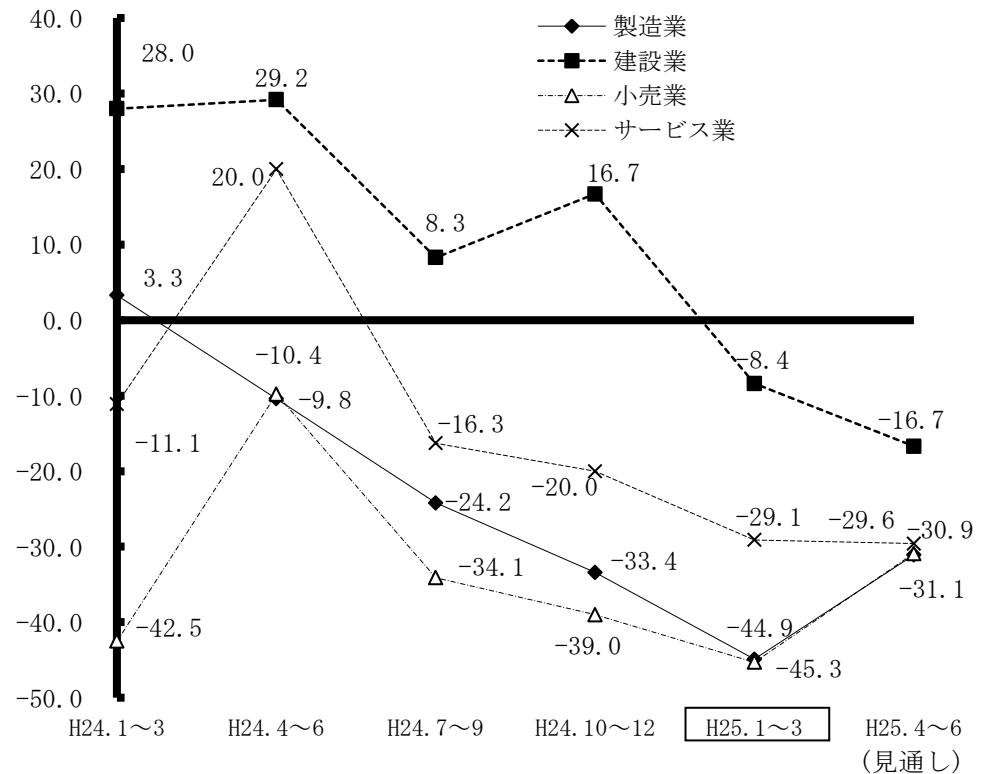
全産業の推移

売上高

今期は、全業種で低下傾向となり、特に建設業において、25.1ポイント低下の△8.4とマイナスに転じました。

また、その他の業種においても、低下傾向が続き、製造業では、11.5ポイント低下の△44.9となりました。

来期は、建設業及びサービスにおいて、引き続きポイントの低下が予想されますが、製造業および小売業においては、マイナス幅が縮小すると予想されます。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

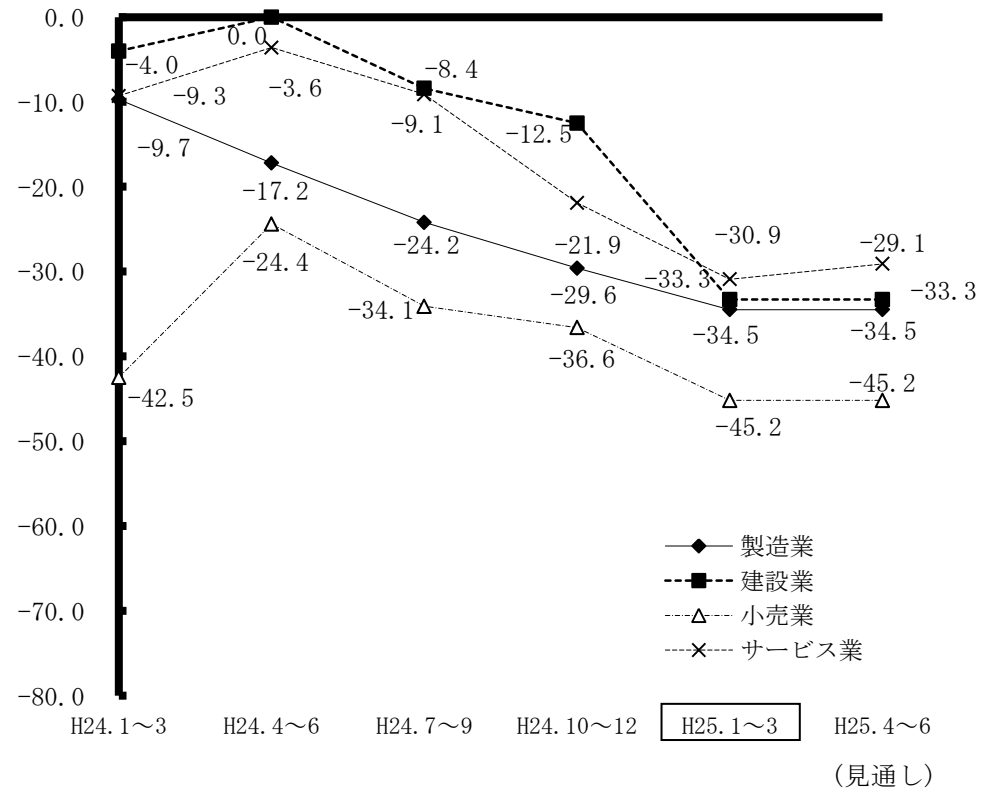
採算

今期は、全産業とも依然マイナス基調で推移しており、建設業において、20.8ポイント低下の△33.3となりました。

また、製造業、小売業、サービス業の3業種でも、マイナス幅が拡大する結果となり、小売業においては、△45.2となり、前年同期の水準まで低下しました。

来期は、サービス業において、1.8ポイント上昇の△29.1ポイントとなり、改善の兆しが見られるものの、他の3業種においては横ばいの見通しです。

※採算は各業種とも経常利益

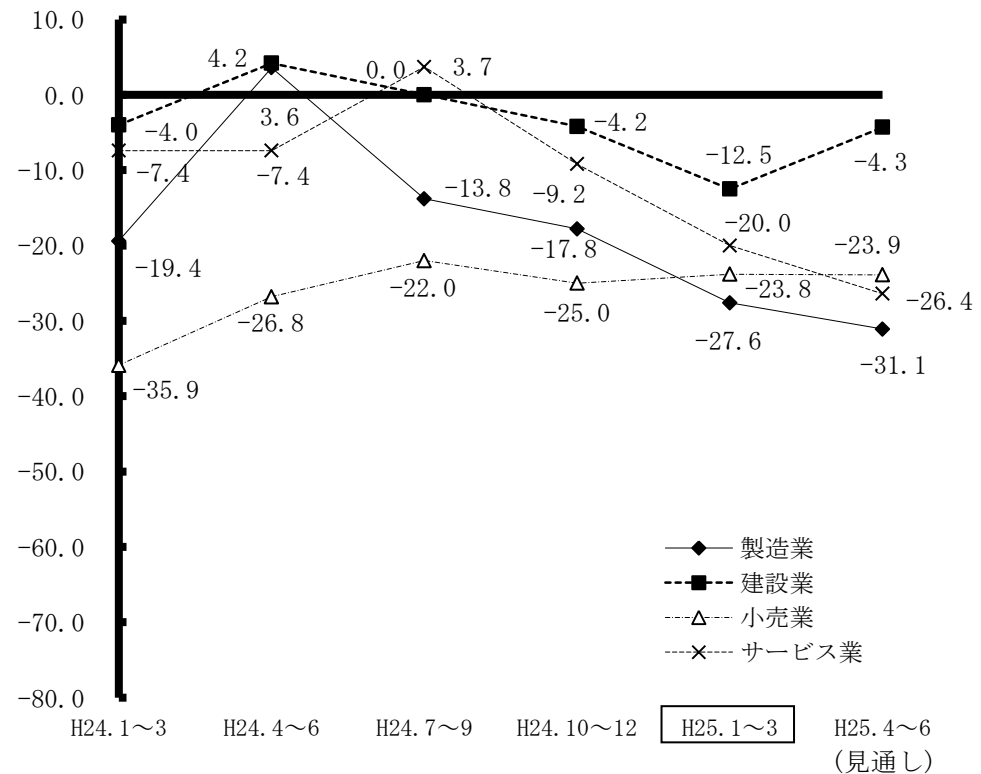


全産業の推移

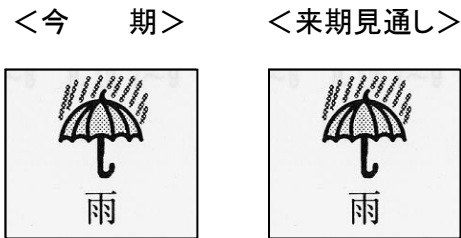
資金繰り

今期は、小売業において、1.2ポイント上昇の△23.8と若干の改善が見られましたが、他の3業種では低下傾向となり、サービス業において、10.8ポイント低下の△20.0となりました。

来期は、建設業で8.2ポイント回復の△4.3となる予想ですが、サービス業及び製造業ではポイントが下げ止まらず、悪化する見通しです。

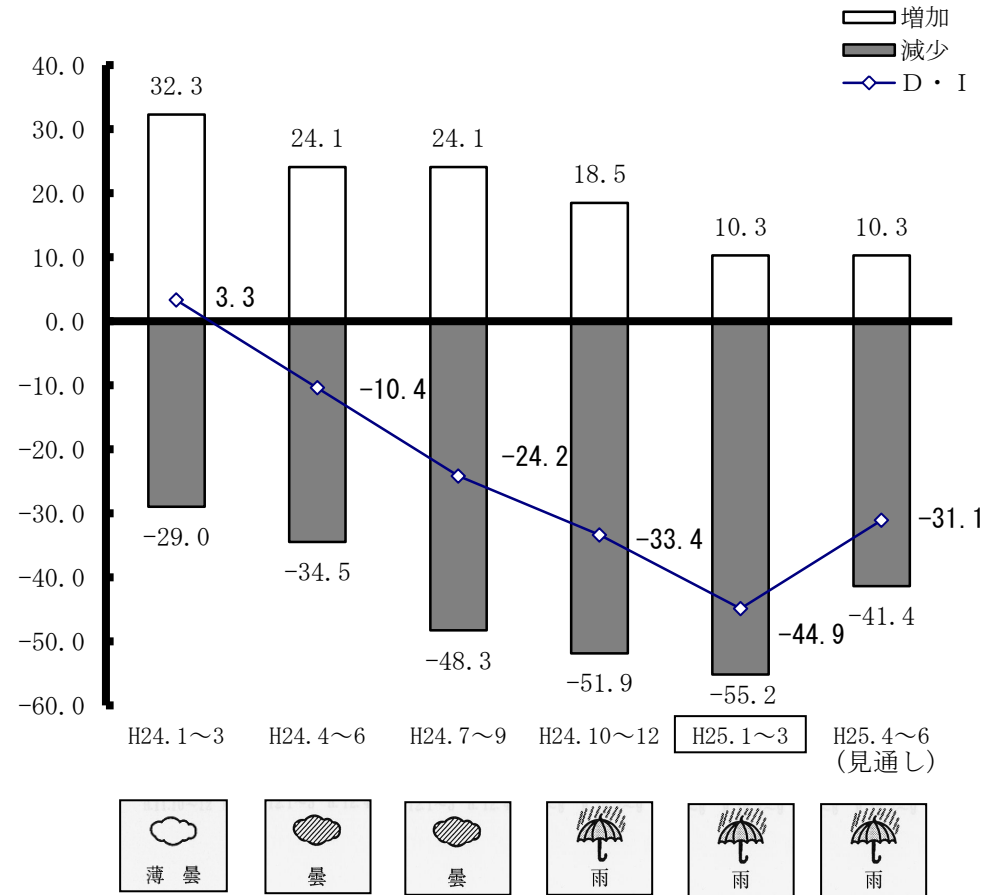


売上高



今期は、減少企業割合が遡増し、増加企業割合の減少と相まって、売上高D・Iは引き続き11.5ポイント低下となり、△44.9となりました。

来期は、売上高の減少を予想する企業の割合が持ち直し、売上高D・Iは、マイナス幅を縮小し、△31.1と予想されています。



製造業の推移

採算

<今 期>

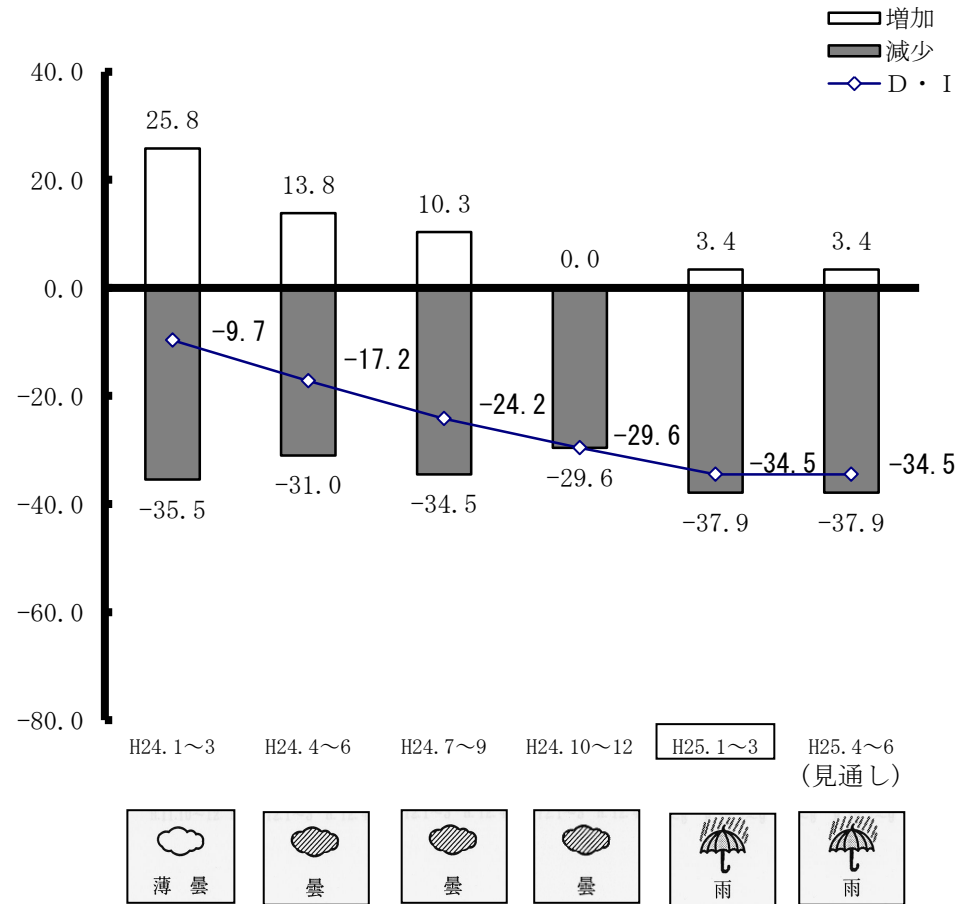


<来期見通し>



今期は、前期に比べ採算が増加した企業の割合は増えたものの、採算の悪化を挙げる企業の割合が増加したことにより、採算D・Iは低下し、△34.5となりました。

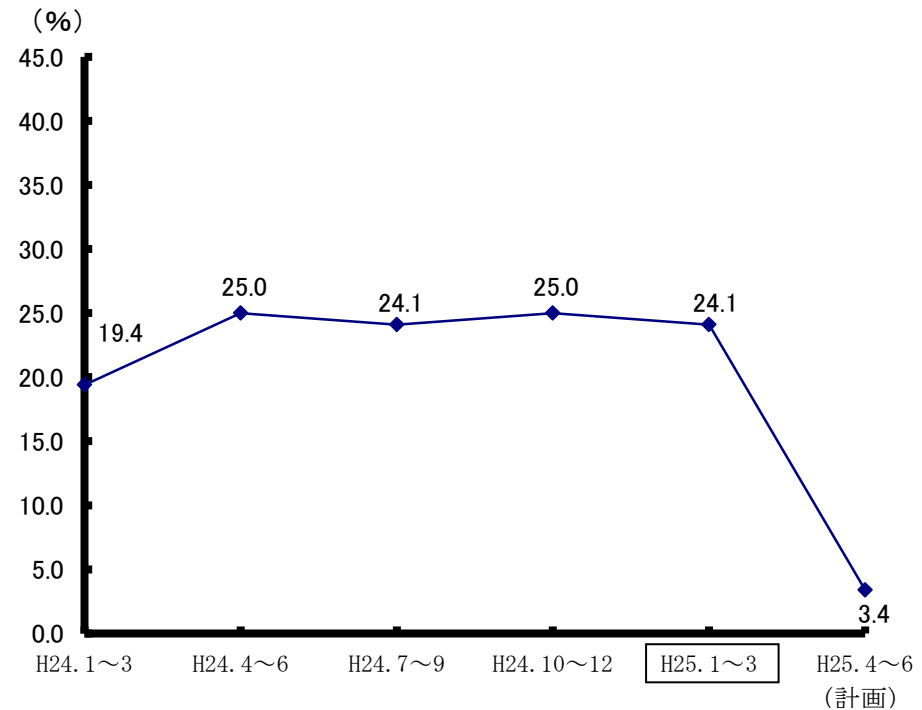
来期は、採算が増加する企業の割合および採算が減少する企業の割合が前期と同水準のまま推移する見込みです。



設備投資

今期見通しでは、設備投資を行う企業は若干減少し、24.1%となり、前々期と同水準となりました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は、20.7ポイント大幅に減少し、3.4%となると予想され、設備投資が抑えられる見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

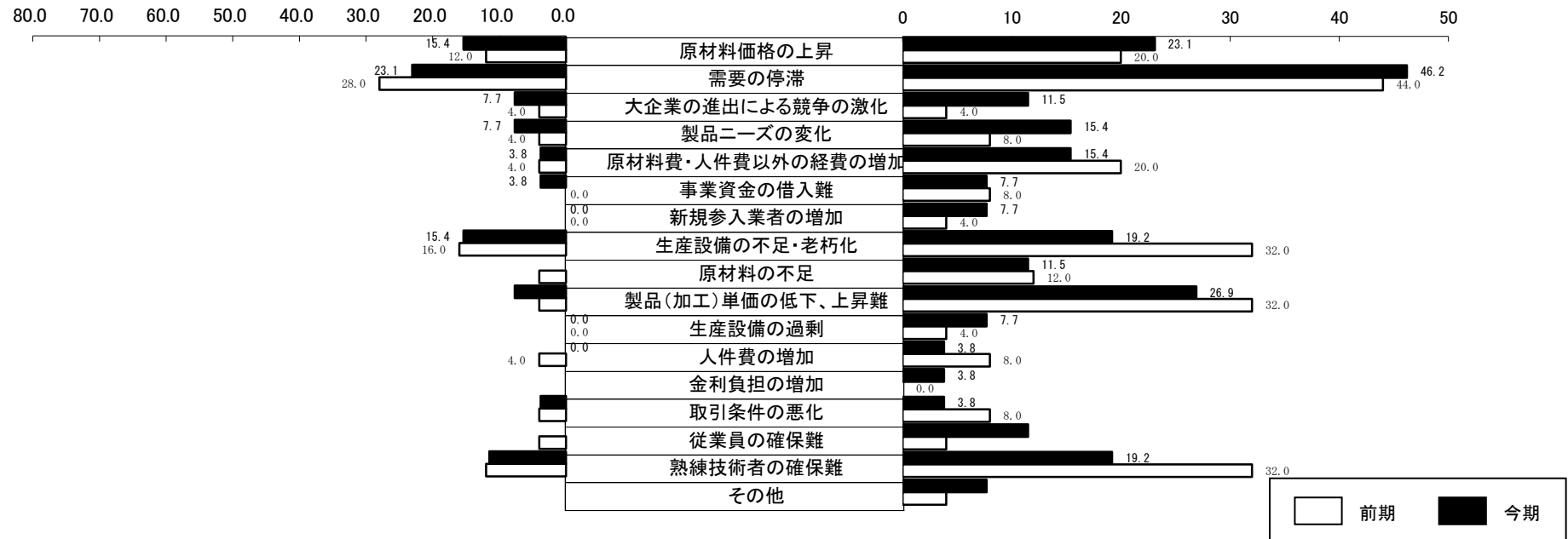
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

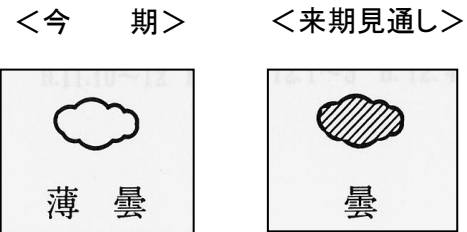
1位~3位の問題点

(目盛: %)

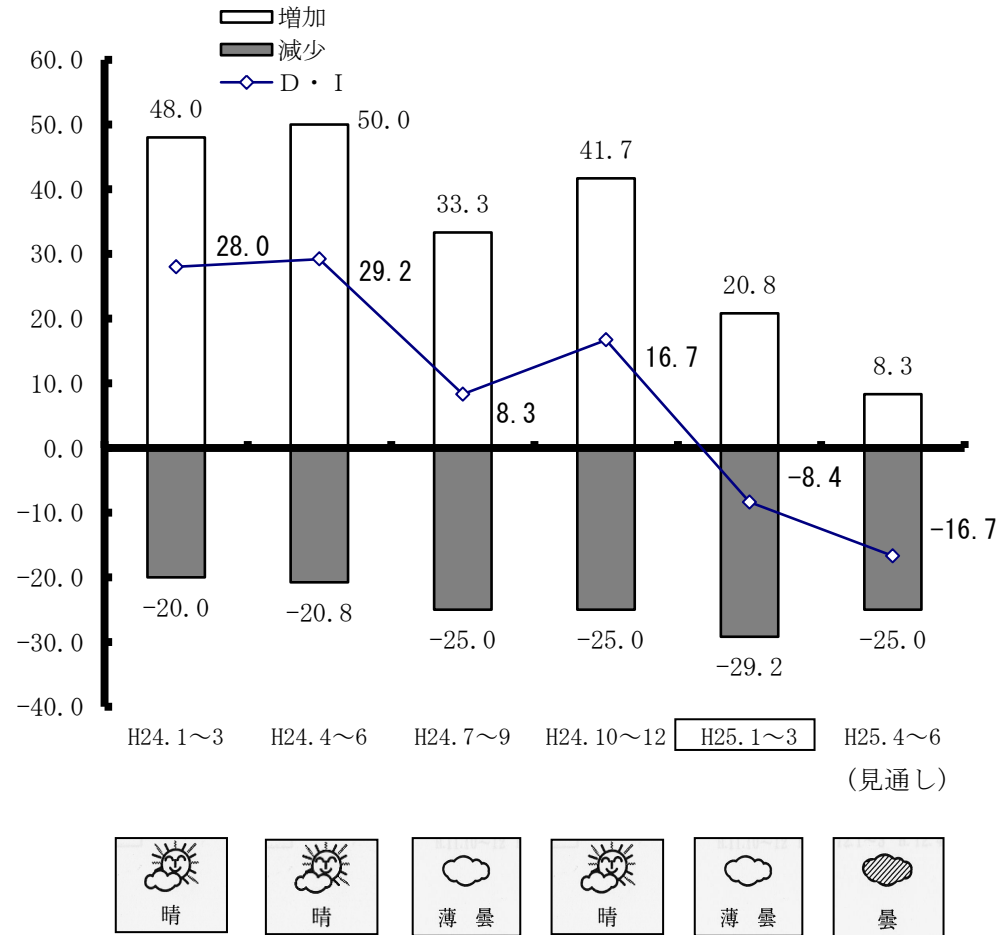


建設業の推移

売上高



今期は、前期に比べ、売上高の増加を挙げた企業の割合が減少したほか、売上の低下を挙げた企業の割合も増え、売上高D・Iは25.4ポイント減少の△8.4となり、マイナスに転じました。
 来期は、売上高の減少を予想する企業の割合が若干減少するものの、売上高の増加を予想する企業の割合が減少することから、売上高D・Iはさらに低下し、△16.7まで悪化する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

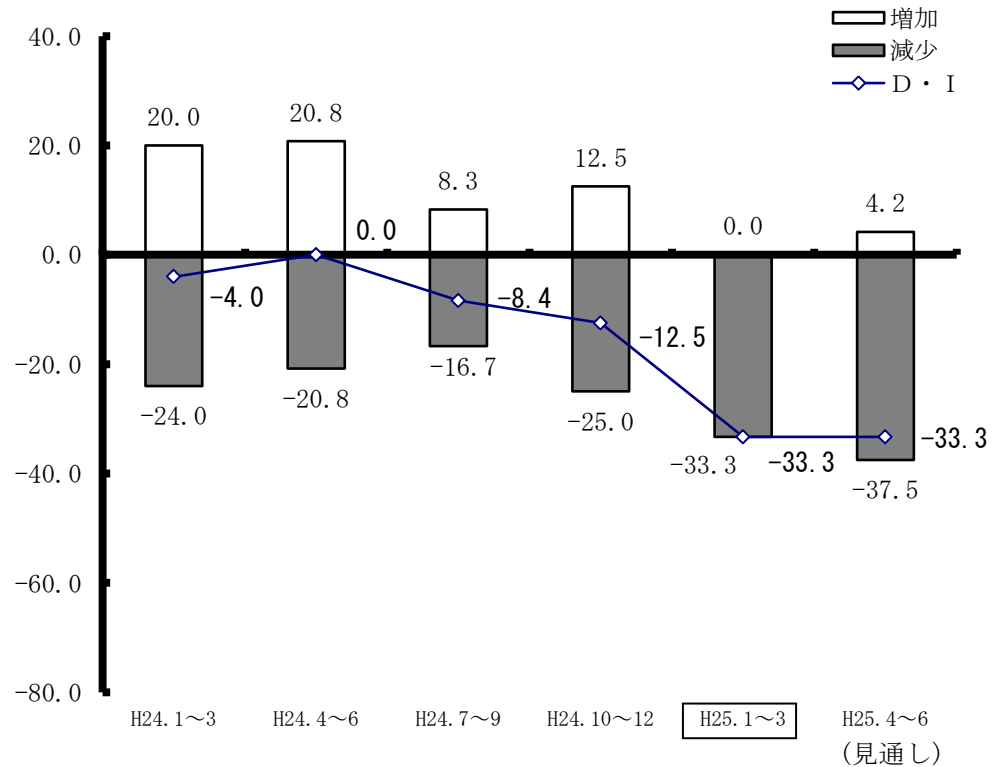


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業がなく、採算悪化企業の増加に歯止めがかからず、20.8ポイント減少の△33.3となりました。

来期は、採算悪化すると予想する企業が増加するものの、好転を予想する企業が増加し、採算D・Iは同水準で推移すると見込まれます。

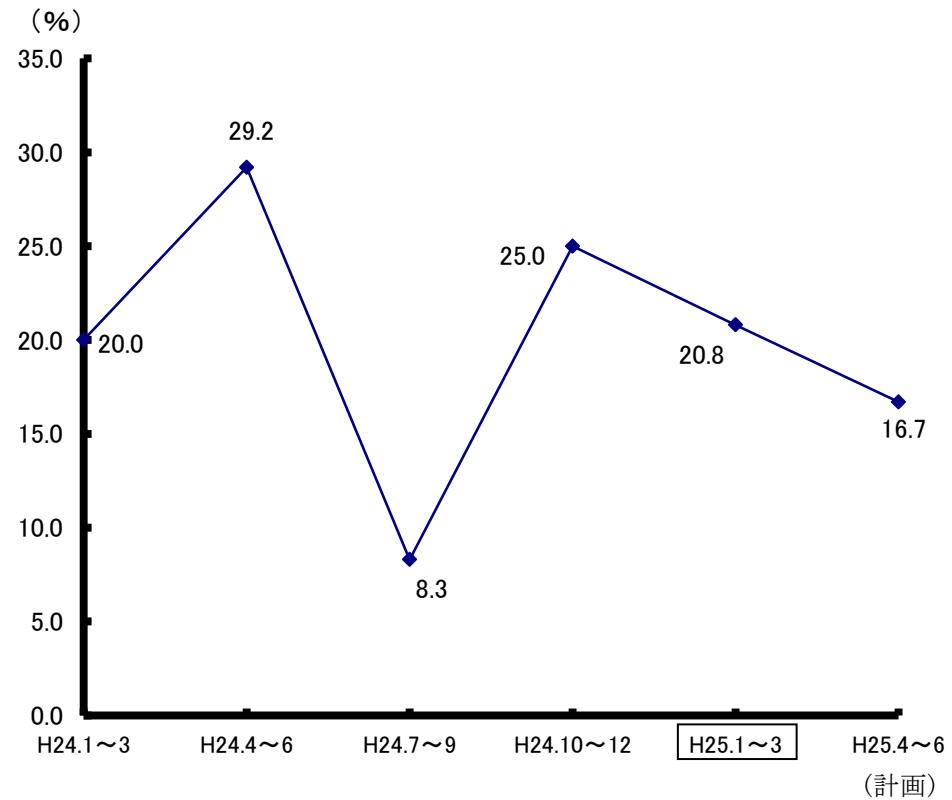


設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は4.2%まで減少すると予想されていましたが、実際は、20.8%の水準で下げ止まりました。

来期は、設備投資を予定する企業はさらに減少し、16.7%まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

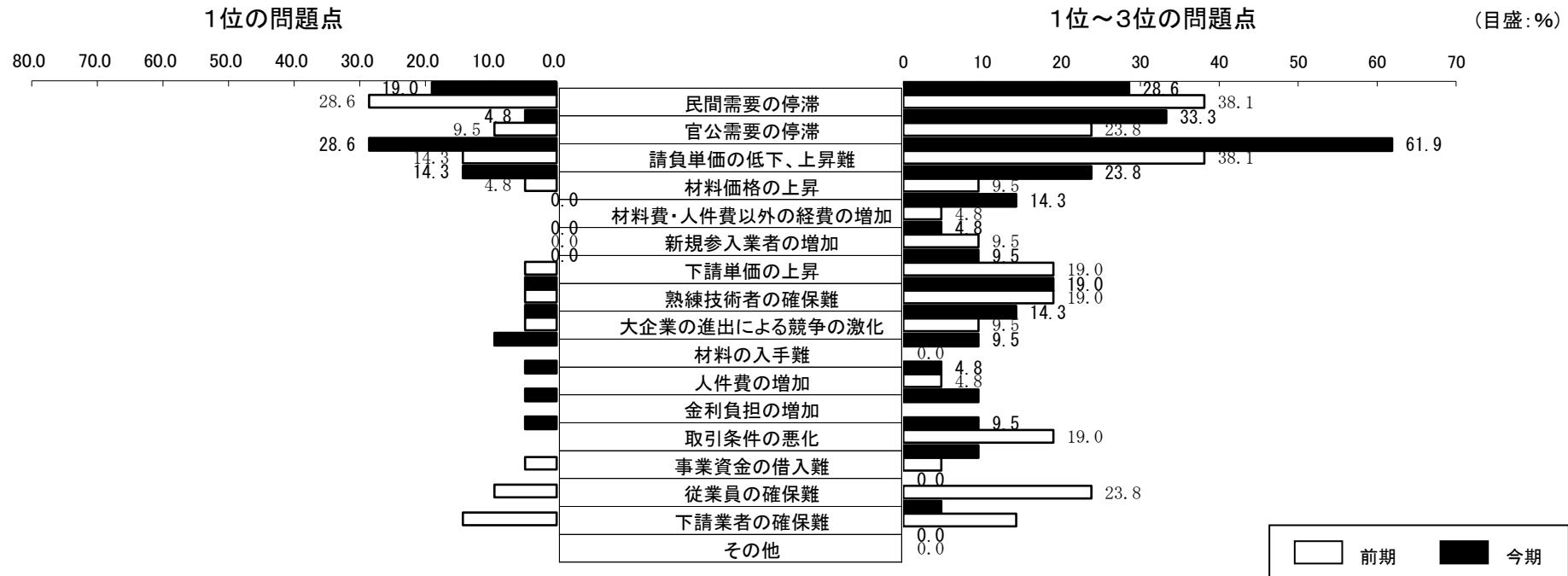


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

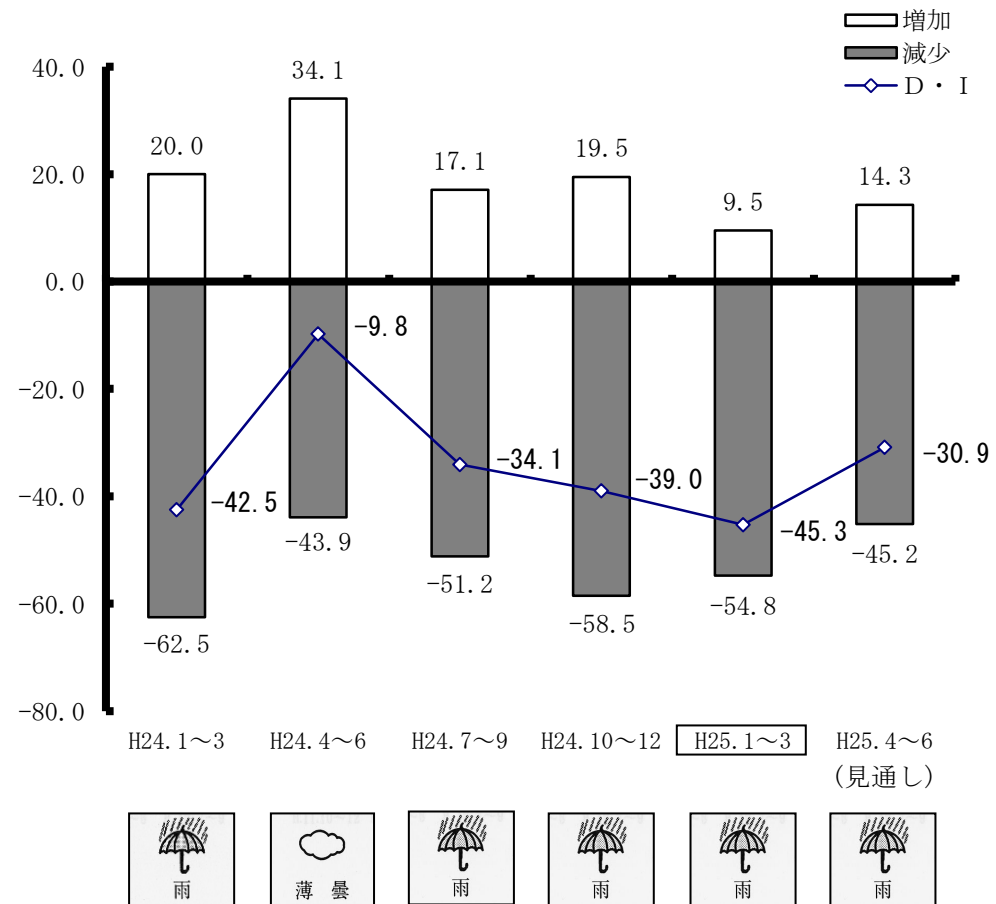


<来期見通し>



今期は、売上高減少企業の割合が減少したものの、それ以上に、売上高増加企業が10.0ポイント減少したことから、売上高D・Iは、6.3ポイント悪化し、△45.3となり、業況天気図も依然雨で推移しました。

来期は、売上高増加予想企業が増加するほか、売上高減少企業も、減少するため、売上高D・Iは、14.4ポイント増加の△30.9まで回復する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

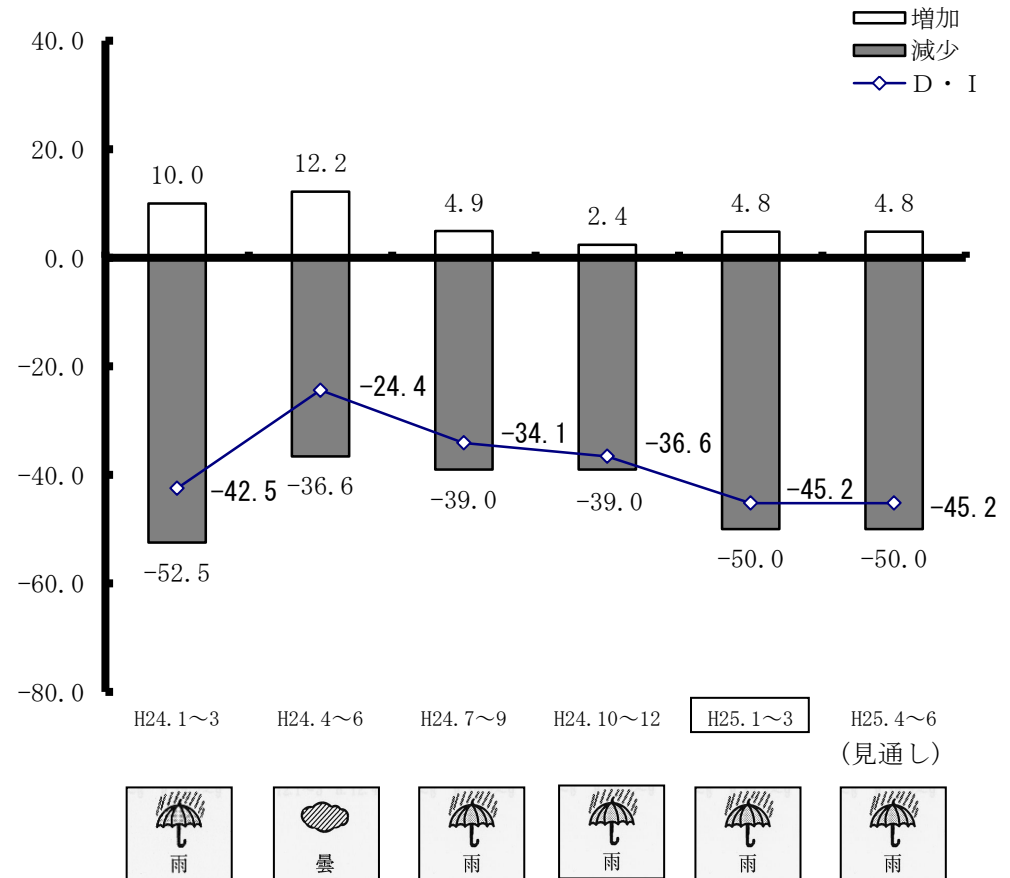


<来期見通し>



前期見通しでは、低いレベルでの横ばいが予想されていましたが、マイナス幅がさらに8.6ポイント減少の△45.2となり、業況天気図も依然雨のまま推移しています。

来期は、採算悪化企業および採算好転企業ともに同水準で推移し、回復が期待できない見込みです。

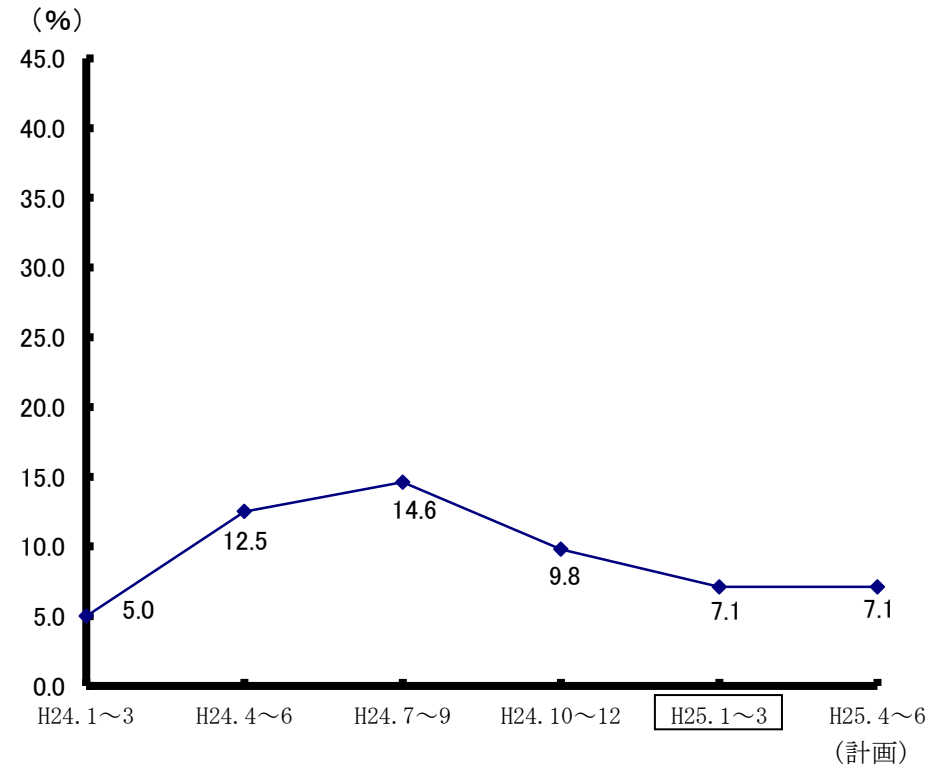


設備投資

前期見通しと比べ、実際に設備投資が実施した企業は、7.1%にとどまり、依然厳しい状況が見えました。

来期も、このまま同水準で推移する見込みです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

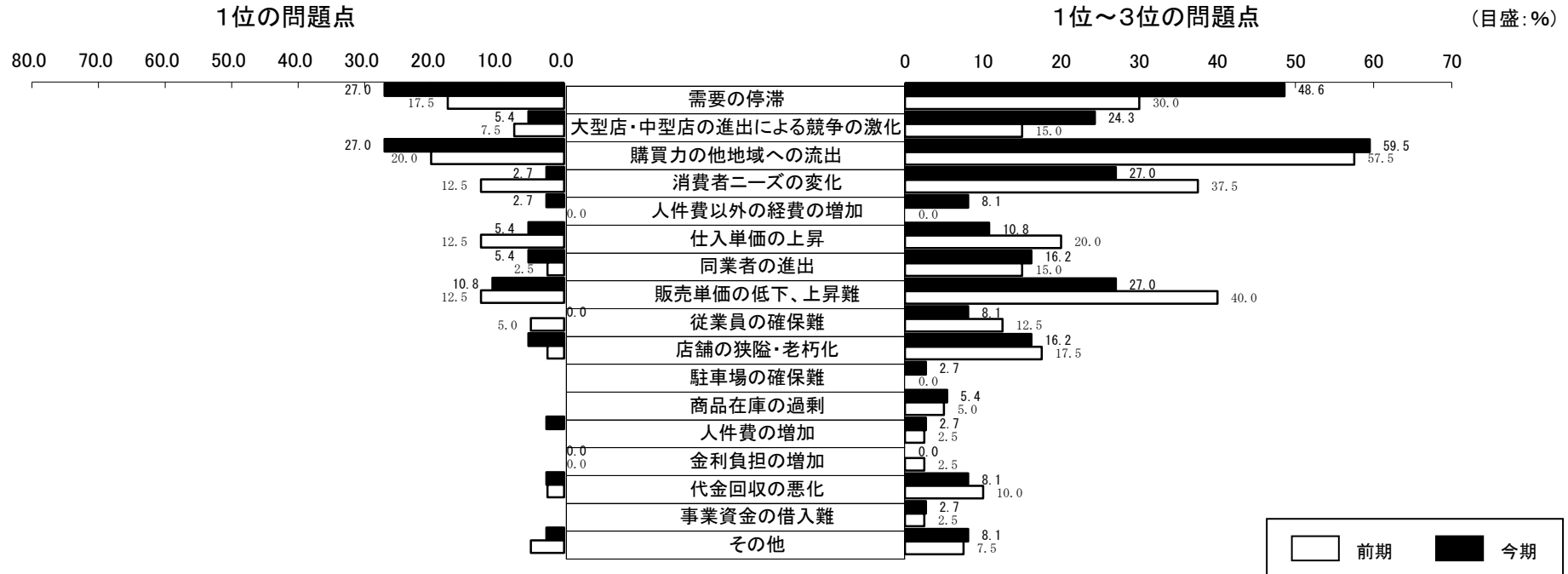


小売業の推移

経営上の問題点

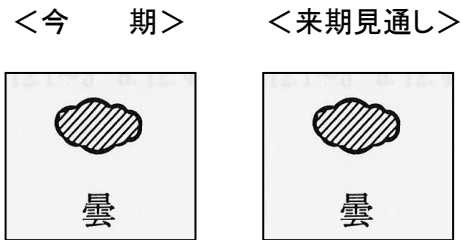
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



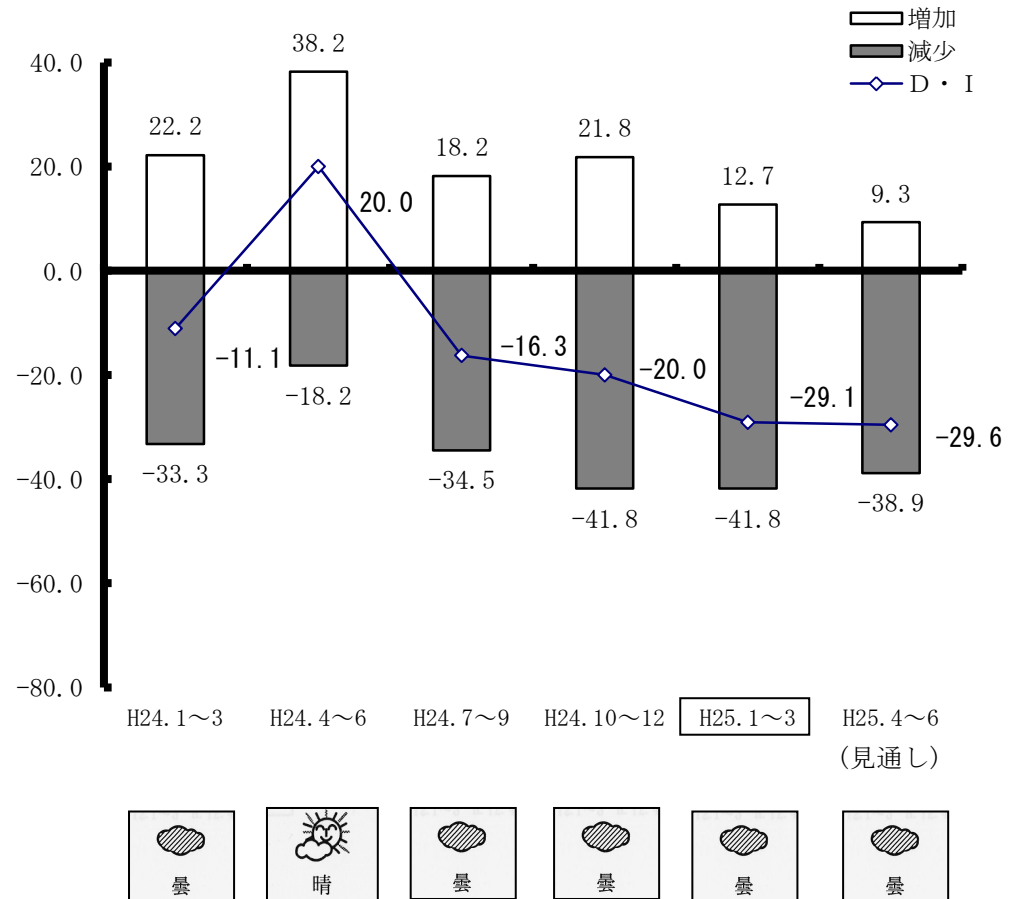
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高減少企業が前期と同水準であったにもかかわらず、売上高増加企業が減少し、売上高D・Iは、△29.1となりましたが、さらに悪化しました。

来期は、売上高減少を予想する企業割合が減少するものの、売上高増加企業が減少することから、売上高D・Iは△29.6となり、低下する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

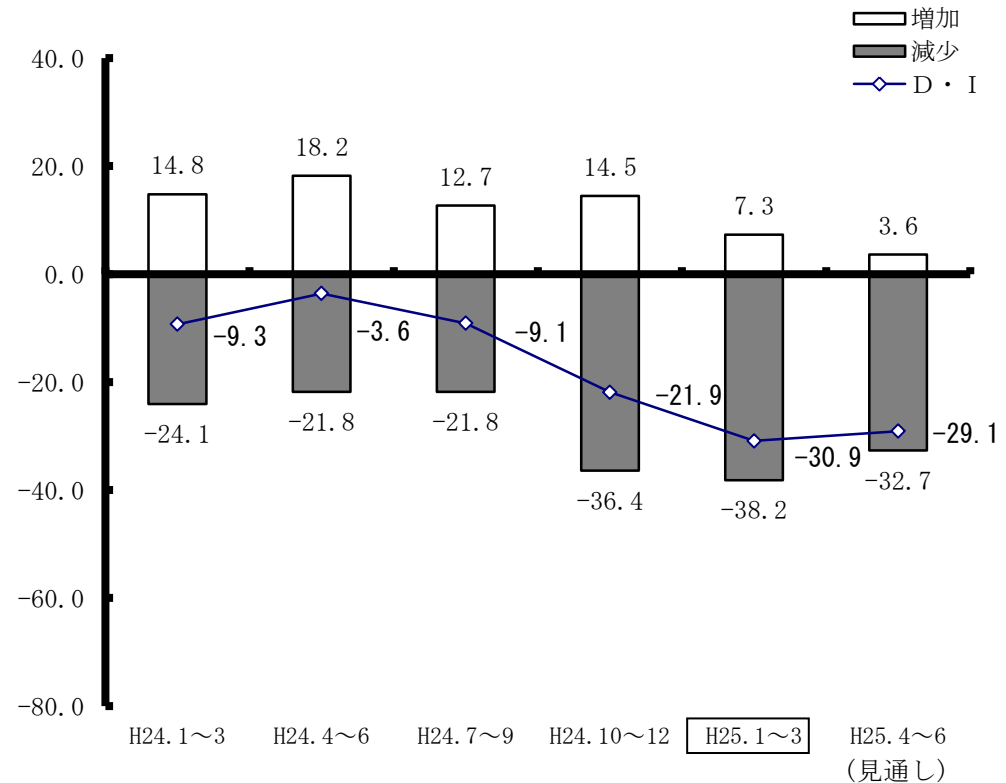


<来期見通し>



今期は、採算増加企業が減少したほか、採算悪化企業が大幅に増加したことから、9.0ポイント減少の△30.9となり、マイナス幅が拡大しました。

来期は、採算の好転を予想する企業は低下しますが、採算悪化企業も減少することが予想されますので、若干回復する見通しです。

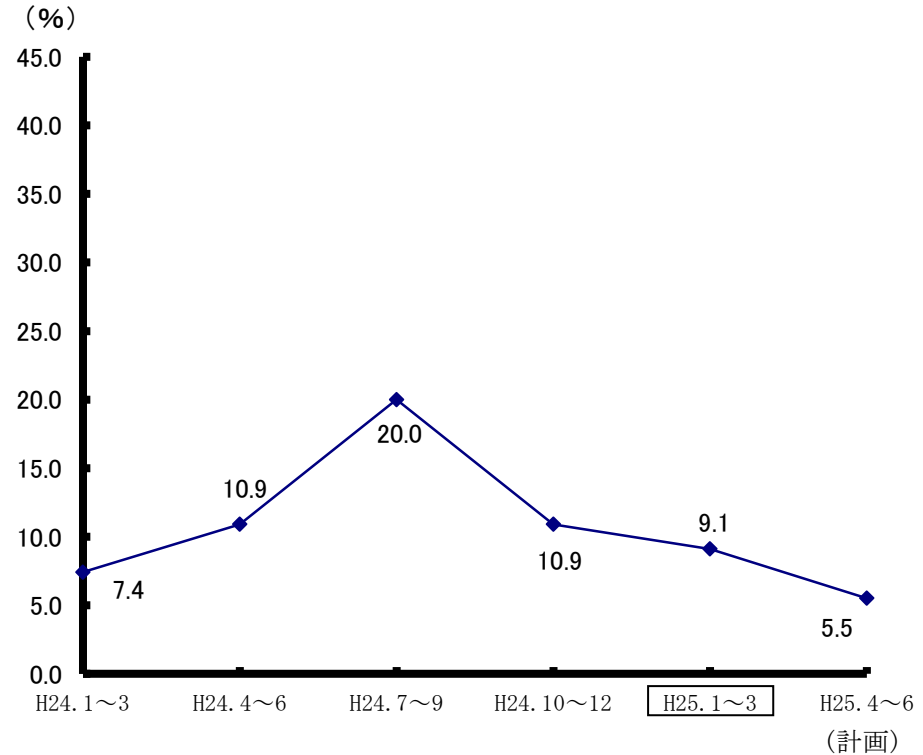


設備投資

前期見通しでは、設備投資実施企業は5.5%に減少すると予想されていましたが、実際は、9.1%の水準で下げ止まりました。

来期は、さらに設備投資の実施を予定する企業が減少し、5.5%の水準まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

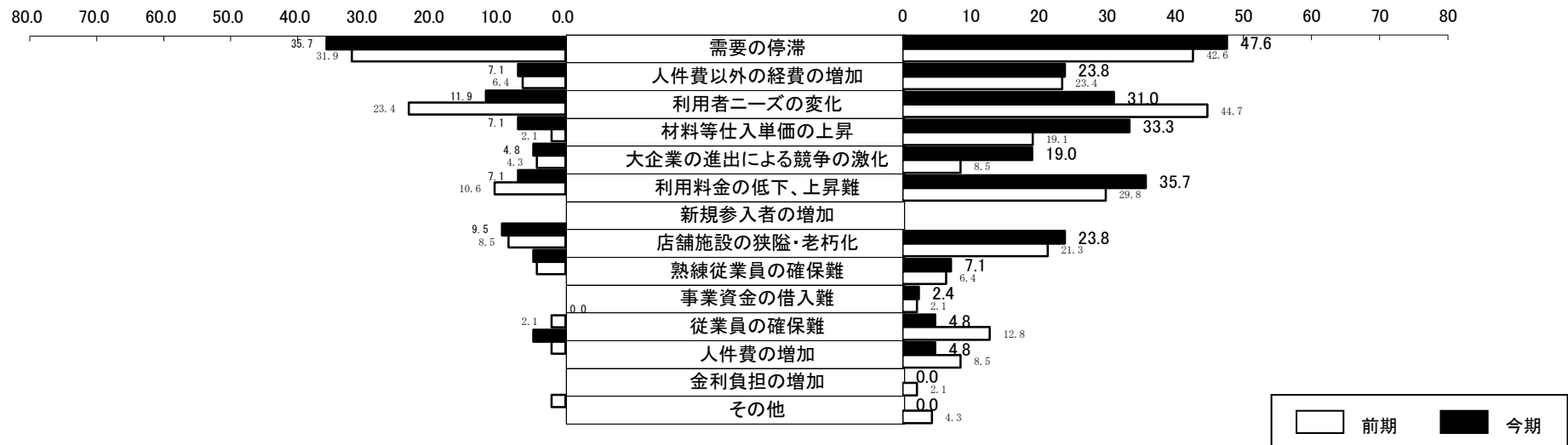
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

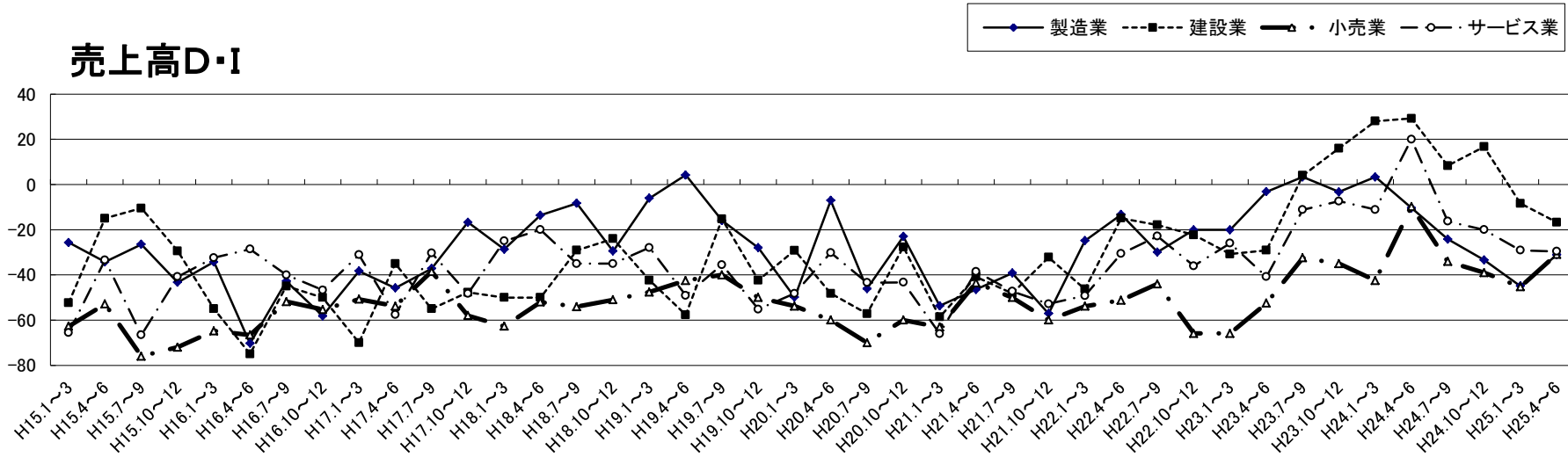
1位~3位の問題点

(目盛:%)

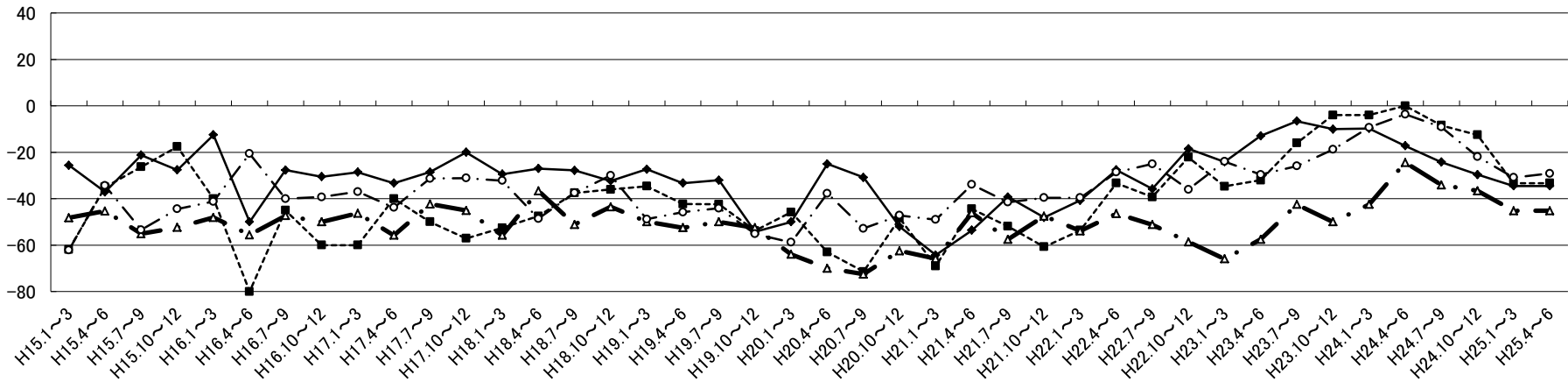


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成25年1月～3月を対象とし、調査時点は平成25年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		24 (16.0)	24 (16.0)	100.0
小売業		42 (28.0)	42 (28.0)	100.0
サービス業		55 (36.7)	55 (36.7)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。